

金沢という土地柄がそうさせていると感じました。

小
松
市

1、小松市の概要

人 口 109,763 人 (平成 19 年 4 月)

世帯数 37,727 世帯

面 積 127.59 k m²、議員 24 名

市政施行 昭和 25 年 12 月

予算額 (一般会計) 407 億 8000 万円 (平成 19 年度当初)

財政力指数 0.69

2、院内暴力対策について

議会事務局若林様の案内で小松市民病院を訪問する

(1) 小松市民病院

管理局総務課西課長様、看護室長安田様より説明を受ける

昭和 25 年 1 1 月市立小松病院を開設し現在に至る

診療科目は、内科、小児科、外科をはじめ 22 診療科を備えている

病床は一般病床 307 床、結核病床 10 床、感染症病床 4 床、精神病 50 床 合計 371 床

平成 18 年度の収益勘定は 1 億 2,562 万円の赤字経営となっている

院内暴力について

患者 (患者の家族) の暴力に対する対応マニュアルを作成している。

このマニュアル作成には病院関係者全職員よりアンケートをとり対策傾向を把握して作成した

回答率は 68.1% で関心の高さは高いと医療安全対策室の話でした

内容で主なものは

- ・ 発生時の連絡先の徹底昼間、夜間のべつに警備員を院内に配置させ必要に応じて警察等への連絡もある
- ・ 必要以上に患者に近づいたり接触したりせず、逃げ道を確保した上で対応
- ・ 一時待避場所、病室に入るときは扉を開けておく
- ・ 患者と 1 対 1 になることを避ける
- ・ このように対応しても患者は診察を受ける権利のみ行使してくるので病院側で対応策を整えておかなければいけないのが現状である。

〔感想・岡崎市への反映〕

本市でも同様の事案が発生していると聞きますが岡崎市の院内暴力対策は総合的な連絡網及び対策委員会がしっかりしているので今回訪問した金沢市、小松市の両市より組織形態は本市の方が完成していると思いますが全職員の対応感覚は訪問した両市の方が高いと感じました。

今後は本市においても自衛策をもっと完備しておかないと患者からの院内暴力に対処できないと思う例えば非常ボタン、監視カメラの設置等の必要がある。大いに参考にしたい